

令和5年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川温泉プール
所在地	下関市菊川町大字下岡枝 5 4 7 番地 1
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町 4 番 1 号カラトピア 4 階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に表示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	T E L : 0 8 3 - 2 8 7 - 1 1 1 4
	E - m a i l : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	43,200	43,300	—	—	—
実績値	40,474	—	—	—	—
差	△ 2,726	—	—	—	—

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者数は増加傾向にはあるものの、インフルエンザの流行もあり、目標値に達することはできませんでした。引き続き新規利用者の獲得に向けたイベントを開催するなど利用者の増加に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容については、水泳教室を開催するなど利用者数の増加に努めており、今後も指定管理者の特色を活かしながら、更なる企画の充実を図ることを期待しています。

施設の管理については、設備点検、監視体制、監視員の訓練など徹底した安全対策を講じ、プール事故等の発生はありませんでした。また、水質管理や設備の衛生管理についても適切に実施していました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務の更なる向上充実を図り、利用者が安心して利用できる環境づくりを求めます。また、利用者のニーズに対応した自主事業の企画・実施や周辺施設との合同イベントの開催など、菊川温泉施設の一体的な管理によるメリットを生かし、利用者の拡大に努めることを求めます。

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。団体利用者と個人利用者との利用調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

遊泳用プールの衛生基準、プールの安全標準指針等に則り、事業運営に関する業務を適切に実施していました。
施設の利用状況について、利用者からの苦情等問題はなく、適切に実施していました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の収受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出について適正に処理していました。
領収書や経理関係書類の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類も適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。また、事故等が発生した場合は、迅速かつ適切な対応を取っています。緊急時の対応マニュアルが整備され、職員等の訓練も実施しています。夏休みなど子どもの利用が増える時期には監視体制を強化するなど、利用者の安全第一に努めています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めました。

経済性

支出については、昨年度比で増加していますが、これは人件費の増加によるもので、適正に執行していました。収支についても、経営努力により安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和6年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川温泉プール
所在地	下関市菊川町大字下岡枝547番地1
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 大崎 信一
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に応じられた項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	43,200	43,300	43,400	—	—
実績値	40,474	41,575	—	—	—
差	△ 2,726	△ 1,725	—	—	—

令和6年度は、利用者数は増加傾向にはあるものの、インフルエンザの流行もあり、目標値に達することはできませんでした。引き続き新規利用者の獲得に向けたイベントを開催するなど利用者の増加に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容については、水泳教室を開催するなど利用者数の増加に努めており、今後も指定管理者の特色を活かしながら、更なる企画の充実を図ることを期待しています。

施設の管理については、設備点検、監視体制、監視員の訓練など徹底した安全対策を講じ、プール事故等の発生はありませんでした。また、水質管理や設備の衛生管理についても適切に実施していました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務の更なる向上充実を図り、利用者が安心して利用できる環境づくりを求めます。また、利用者のニーズに対応した自主事業の企画・実施や周辺施設との合同イベントの開催など、菊川温泉施設の一体的な管理によるメリットを生かし、利用者の拡大に努めることを求めます。

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。団体利用者と個人利用者との利用調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

遊泳用プールの衛生基準、プールの安全標準指針等に則り、事業運営に関する業務を適切に実施していました。

施設の利用状況について、利用者からの苦情等問題はなく、適切に実施していました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の収受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出について適正に処理していました。

領収書や経理関係書類の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類も適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。また、事故等が発生した場合は、迅速かつ適切な対応を取っています。緊急時の対応マニュアルが整備され、職員等の訓練も実施しています。夏休みなど子どもの利用が増える時期には監視体制を強化するなど、利用者の安全第一に努めています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めました。

経済性

支出については、昨年度比で増加していますが、これは人件費の増加によるもので、適正に執行していました。収支についても、経営努力により安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。